



2020年3月期 決算補足資料

2020年6月5日(金)
株式会社ジーンズメイト
代表取締役社長 富澤 茂
(東京証券取引所1部 証券コード7448)

1. Q3までの暖冬・消費増税の影響に加えて、年明けからの新型コロナウイルスの影響で減収減益
2. 一方、在庫及び粗利率の適正化や継続的な販管費の削減により収益構造は改善し、2期連続黒字を確保
3. 継続的に注力しているEC部門に関しては、着実な増収を達成(前年同期間対111.9%)
4. OUTDOOR PRODUCTS業態も、新ライン立上げや期末店舗数純増(+3店舗)もあり、着実な増収を達成(前年同期間対比:103.0%)

通期決算概要

2020年3月期 <損益計算書>

暖冬や消費増税、年明けからの新型コロナウイルス等の影響
で減収減益となるも、2期連続で**営業黒字化を達成**

(単位：百万円)
下段は構成比

	2019年3月期 通期 (18年4月1日～19年3月31日)	2020年3月期 通期 (19年4月1日～20年3月31日)	前期比・差
売上高	8,579 (100.0%)	7,769 (100.0%)	90.6% / △810
売上総利益	4,022 (46.9%)	3,882 (50.0%)	96.5% / △139
販管費	3,930 (45.8%)	3,853 (49.6%)	98.0% / △76
営業利益	91 (1.1%)	28 (0.4%)	31.0% / △63
税引前利益	64 (0.8%)	4 (0.1%)	7.5% / △60
当期純利益	19 (0.2%)	△37 (△0.5%)	- % / △57

2020年3月期 <貸借対照表>

自己資本比率は**78.4%**と、健全な水準を維持

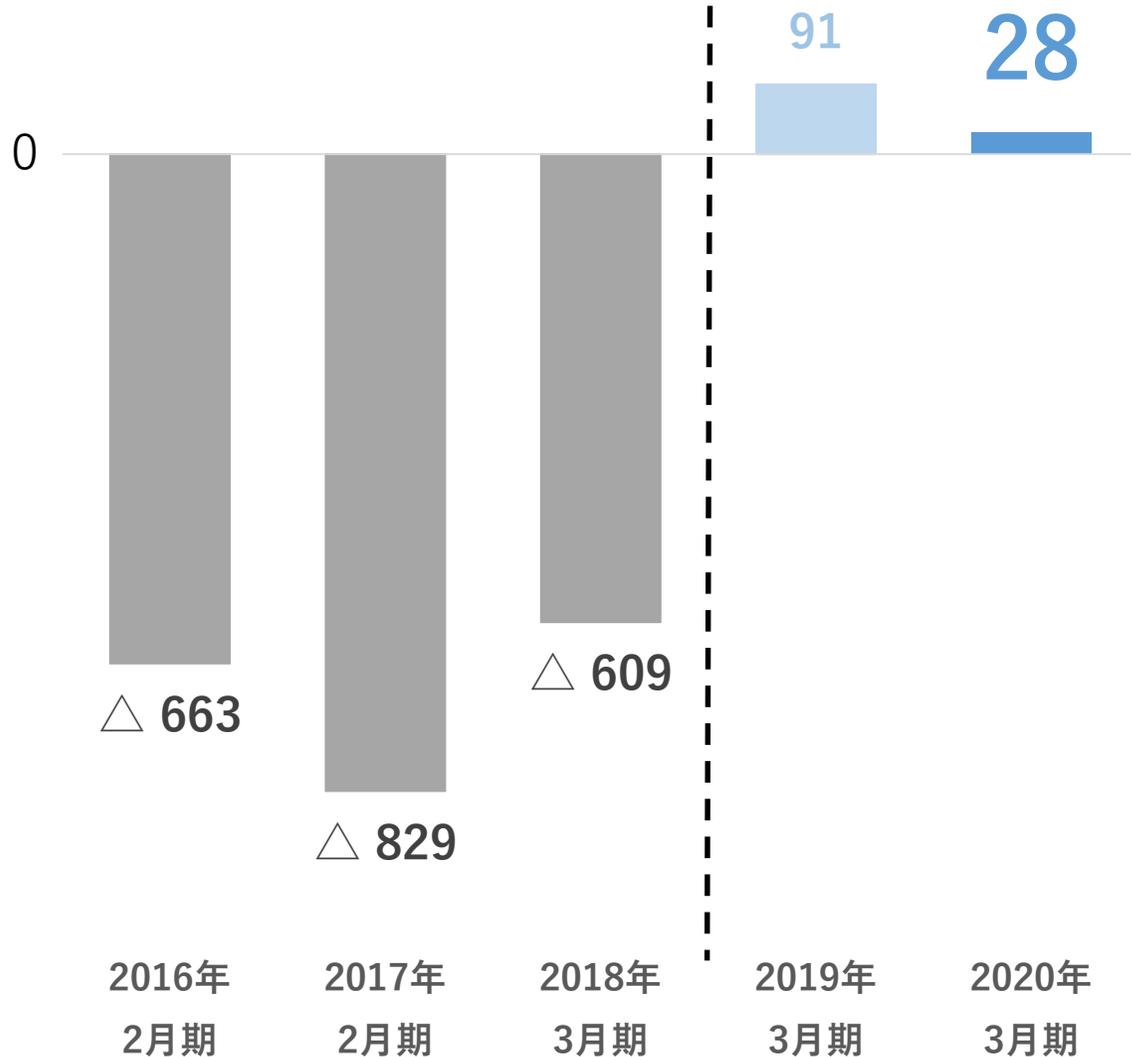
(単位：百万円)

	2019年 3月末	2020年 3月末		2019年 3月末	2020年 3月末
現預金	1,474	1,135	流動負債合計	932	565
売掛金	285	194	固定負債合計	374	364
商品	1,504	1,433	負債合計	1,306	929
流動資産合計	3,377	2,876	株主資本合計	3,416	3,378
固定資産合計	1,345	1,431	純資産合計	3,416	3,378
資産合計	4,722	4,307	負債・純資産合計	4,722	4,307

2020年3月期 <営業利益比較>

(単位：百万円)

【通期営業利益】



在庫および粗利率の適正化や、
継続的な販管費の削減により
収益構造は改善し、

**2期連続の
営業黒字確保**

※比較期間

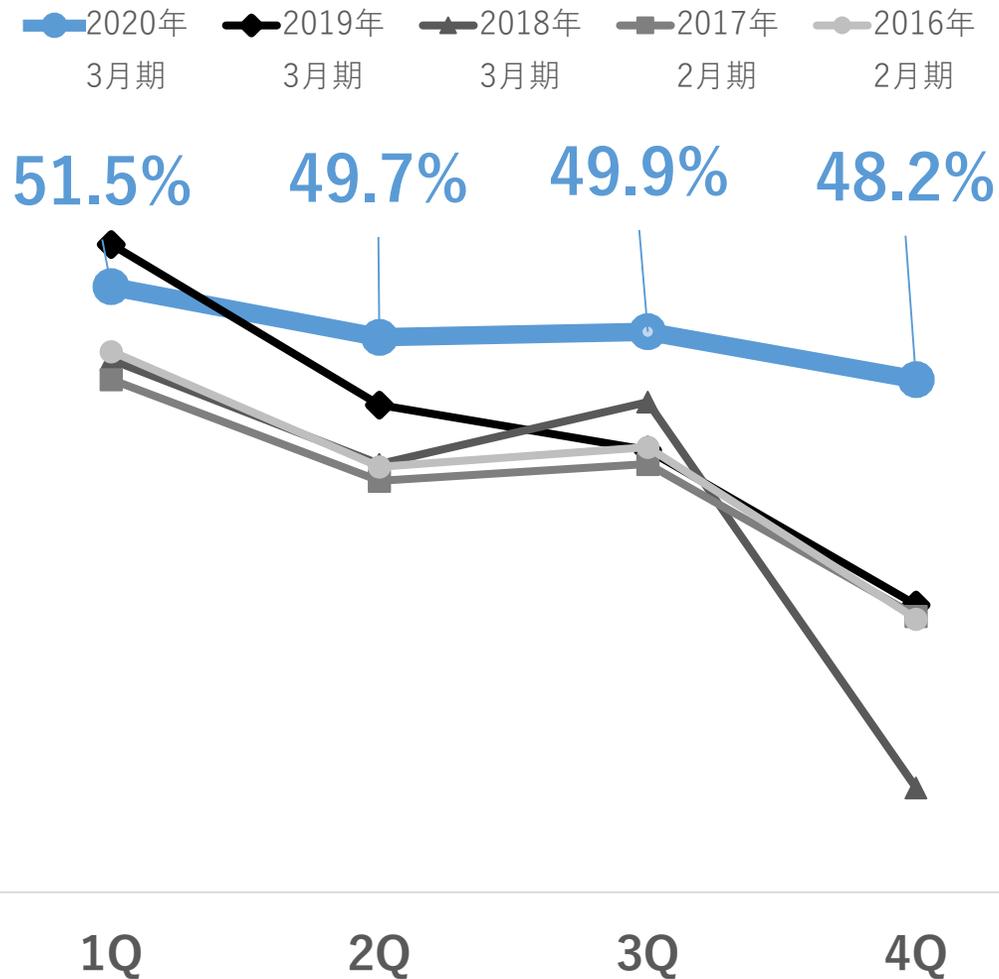
2019~2020年3月期：4/1～3/31

2018年3月期（変則決算）：2/21～3/31

2016~2017年2月期：3/21～12/20

2020年3月期 <粗利率改善の取組み>

【四半期別粗利率推移】



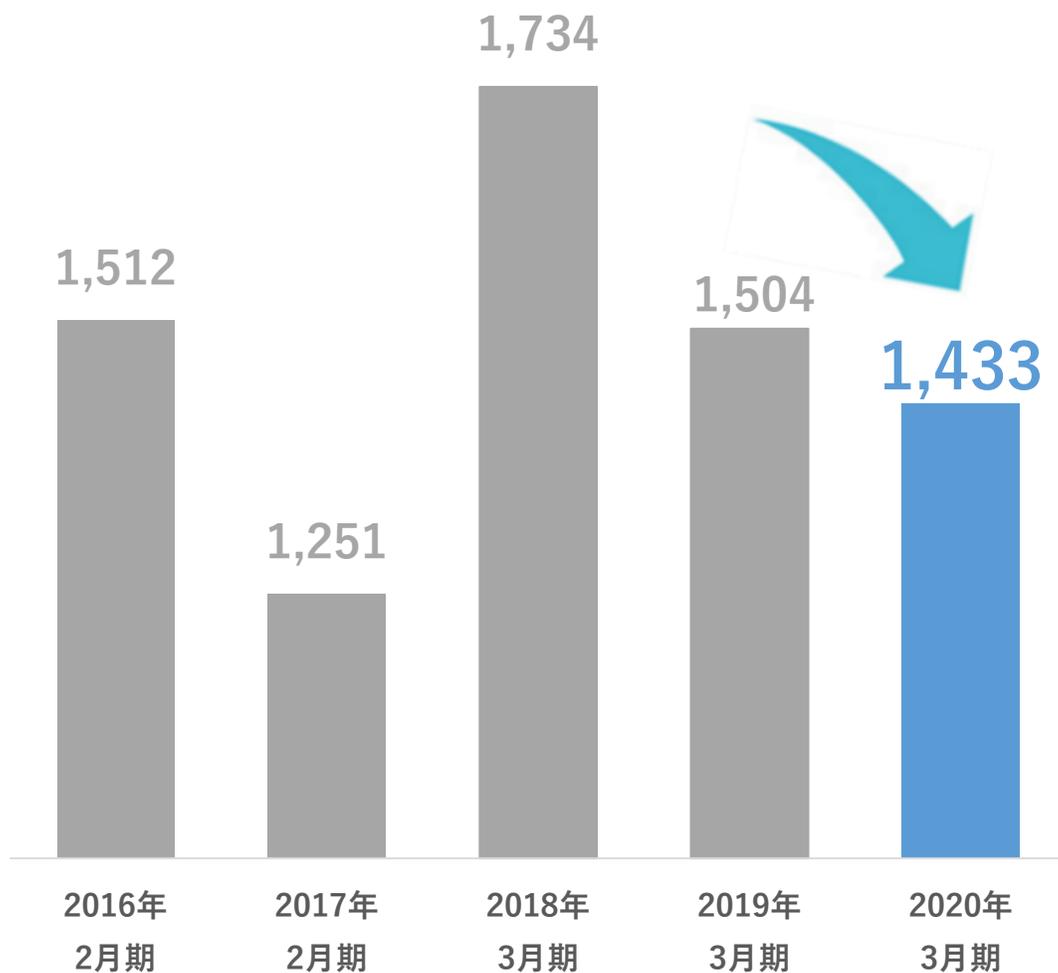
立地別MD推進により、
値下・値引を抑制し、
年度を通して、
**粗利率改善を
達成**

※比較期間 2019~2020年3月期：4/1~3/31
2018年3月期：3/21~3/31
2016~2017年2月期：3/21~3/20
➤ 2019~2020年3月期と近い日付の期間で比較

2020年3月期 <在庫削減の取組み>

(単位：百万円)

【期末在庫原価推移】



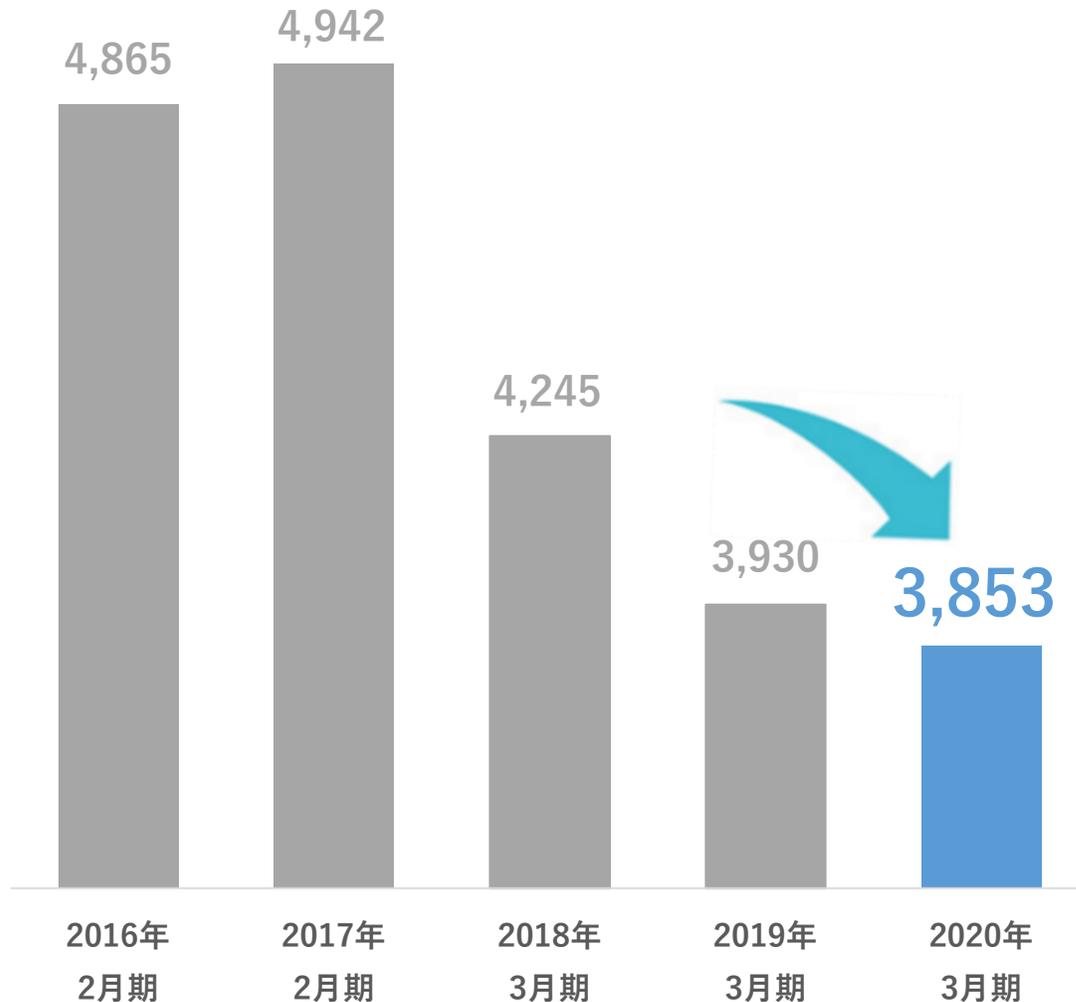
仕入精度向上と、
計画的な在庫処分
継続により、
在庫削減を達成

※比較期間 2018~2020年3月期：3/31時点
2016~2017年2月期：2/20時点

2020年3月期 <販管費削減の取組み>

(単位：百万円)

【通期販管費推移】



継続的に各種販管費の
削減に取組み、
販管費を抑制

※比較期間 2019~2020年3月期：4/1~3/31

2018年3月期：3/21~3/31

2016~2017年2月期：3/21~3/20

➤ 2019~2020年3月期と近い日付の期間で比較

前期振り返りと2021年3月期重点施策

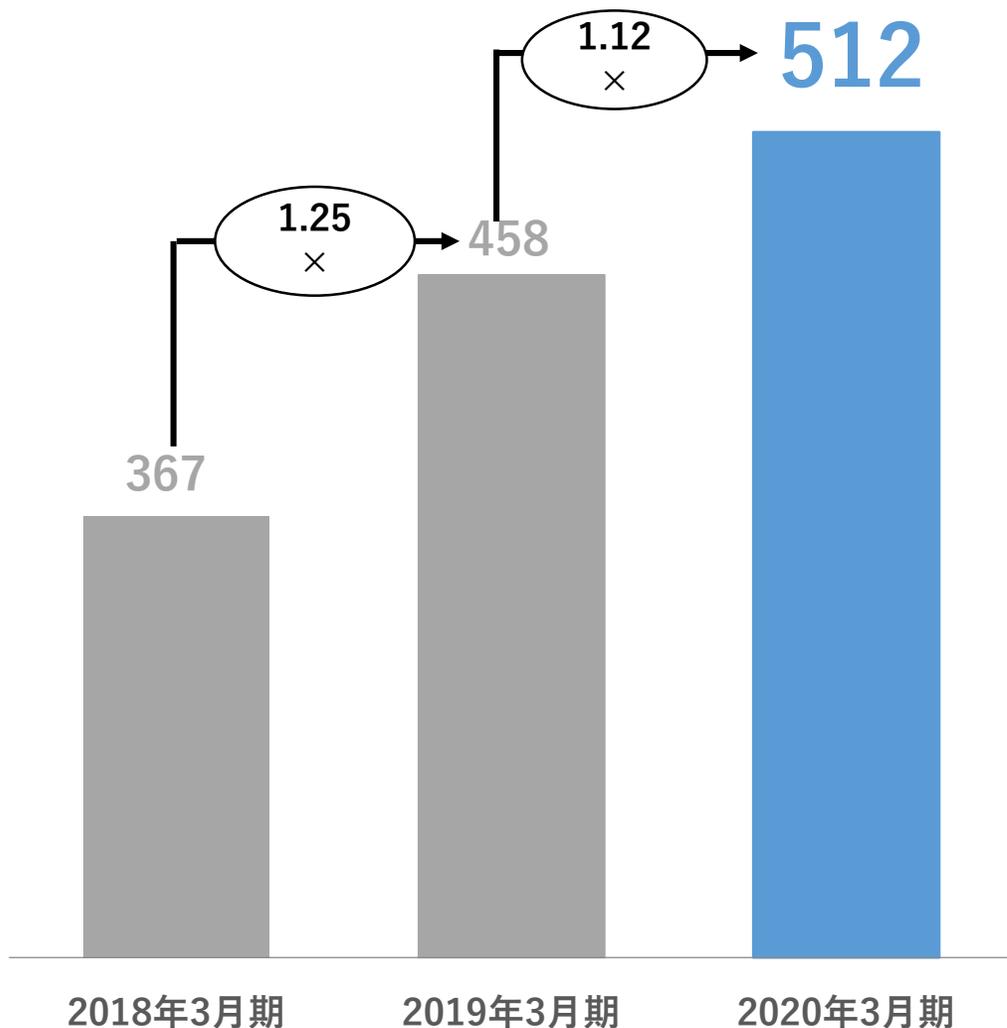
① 非対面事業強化 ～EC強化継続～

② MD改革 ～PB再強化 OUTDOOR PRODUCTS & FORT POINT (Lady's)～

③ 店舗事業戦略 ～出退店実績、インバウンド実績～

① 非対面事業戦略：EC強化継続

(単位：百万円) 【通期 EC売上高】



対比期間:4/1-3/31

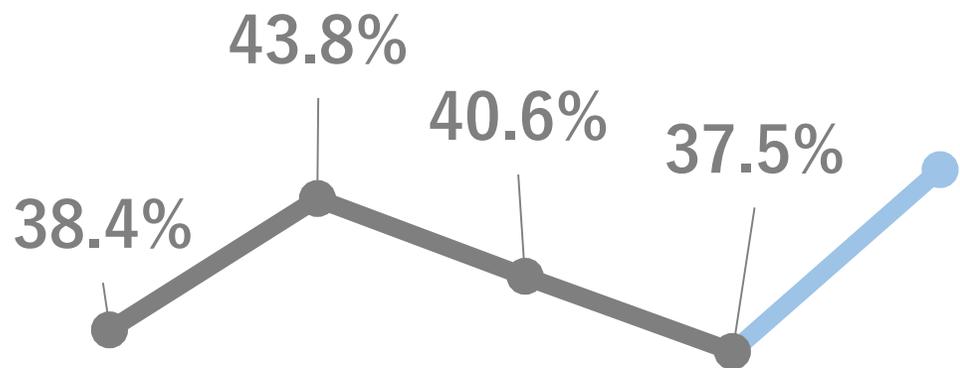
前期はZOZO中心に大きく伸ばす。
今期は、自社ECのリプレイス
及び販促に注力。
加えてZOZOへの注力も継続し、
**売上増及び収益改善を
見込む**

4/1(水)OD公式リニューアルOPEN



②MD改革:PB商品群の再強化

【全売上高に占めるPB比率推移】



2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
2月期	3月期	3月期	3月期	3月期
実績	実績	実績	実績	計画

EC、実店舗共に高付加価値 PB商品の開発により、 差別化と利益構造改善 に繋げる



Blue Standard
アロハシャツ
PB売上2位 粗利率69.9%



OUTDOOR PRODUCTS
切替フード中綿JKT
PB売上1位 粗利率61.8%

②MD改革：PBを訴求する売場へ刷新

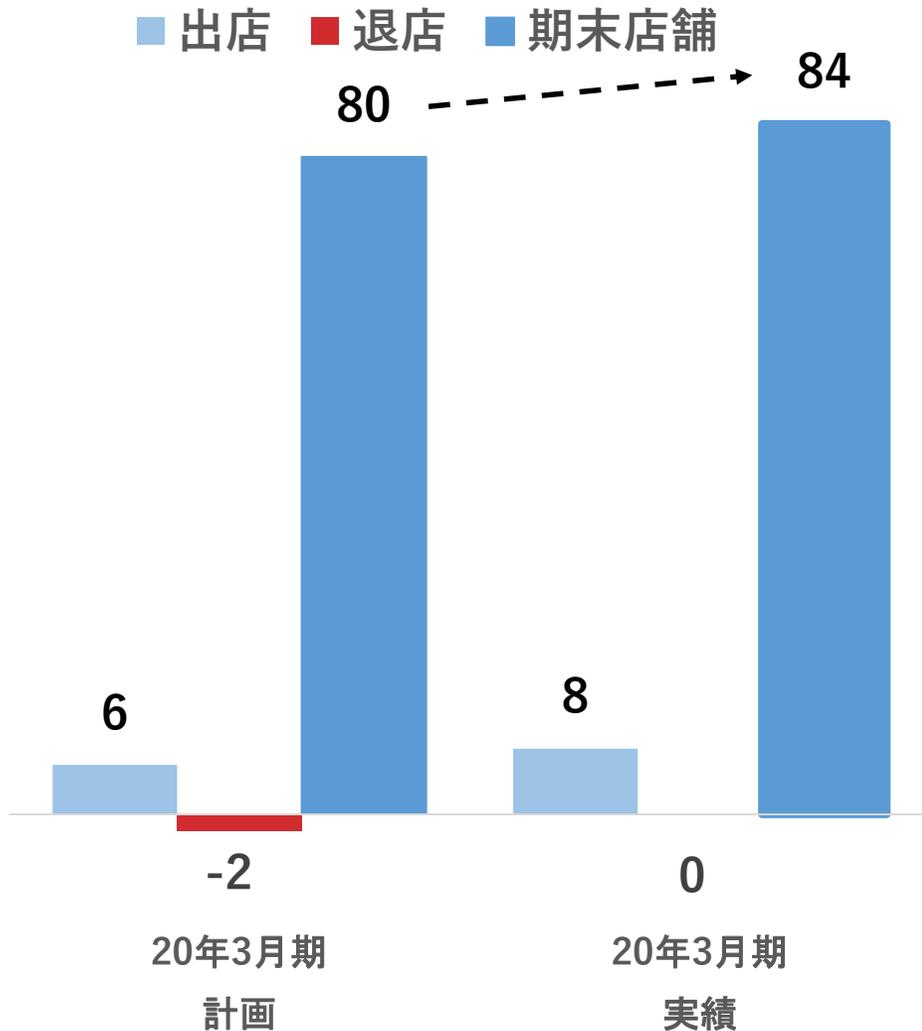
メンズ、レディース共に主力PB商品のVMD強化の為、
専用什器等によるブランドコーナーをJM業態全店設置へ



※JM業態 = JEANS MATE業態

③店舗事業戦略：出退店状況

【20年3月期出退店計画差異】



前期はOD業態を中心に当初計画を上回る出店となる
 今期は、足元の状況も鑑み
 出店は慎重に判断し、
 不採算店の退店を進める

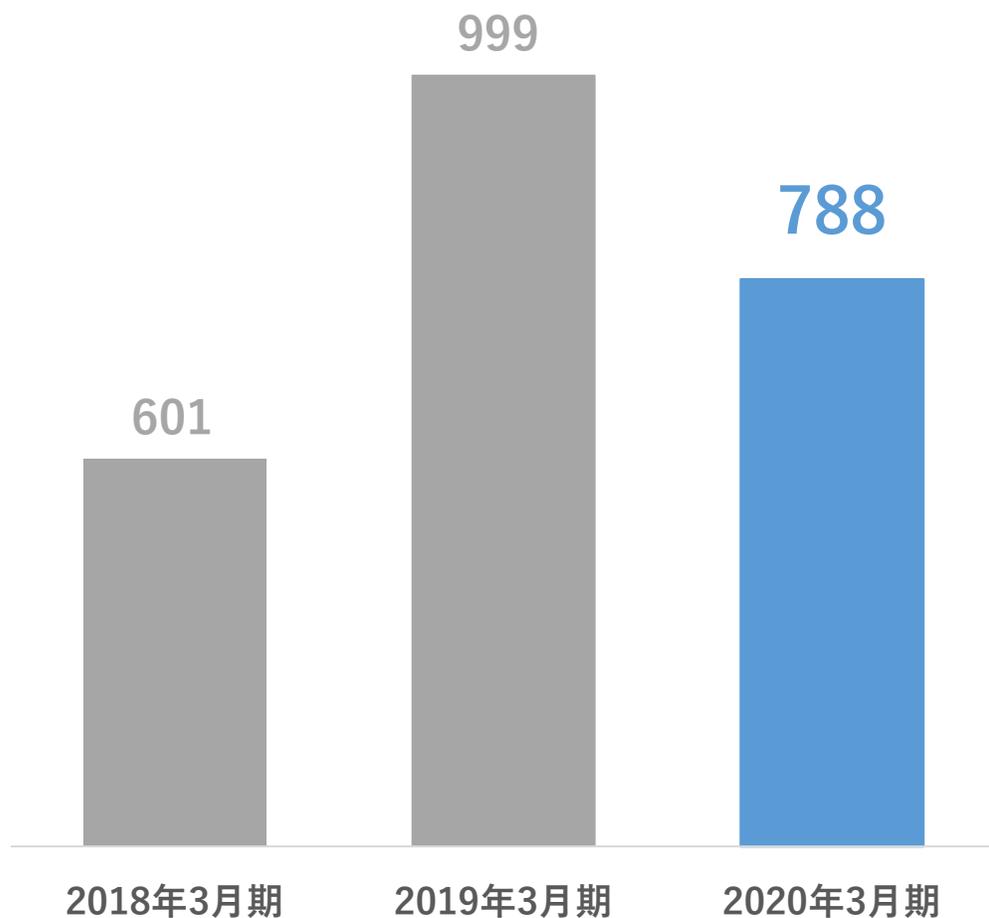
【2020/3/19 Open】
 OUTDOOR PRODUCTS
 ららぽーと湘南平塚店



※OD業態 = OUTDOOR PRODUCTS業態

③店舗事業戦略：インバウンド状況

(単位：百万円) 【通期 免税売上高】



対比期間:4/1-3/31

免税売上高は期の
後半にかけて大幅に失速
(対前年(1Q) 125%→(2Q) 90%→(3Q) 69%→(4Q) 36%)
通期では**78.9%**に留まる

国内需要の取込み再強化へ

通期業績見通し

1,緊急事態宣言による店舗営業状況(全84店舗)

- ・4/30時点 休業38、営業時間短縮46、通常0店舗
 - ・5/29時点 休業2、営業時間短縮77、通常5店舗 までは改善
- 一方、緊急事態宣言解除後の消費マインド回復の見通しが現時点では不透明

2,免税売上の直近推移状況

- ・2月以降の急激な落ち込みに対し、足元の状況も回復の兆候は見られず、今期中にどの程度回復するかが現時点では不透明



現時点では通期業績予想を未定とし、今後業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示

投資家の皆様におかれましてはご理解の程宜しくお願い申し上げます

免責事項

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。